

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜県立加納高等学校運営協議会（ゆめ会議かのう）（第2回）
- 2 開催日時 令和3年10月20日（水） 10：30～12：00
- 3 開催場所 岐阜県立加納高等学校 校長室
- 4 参加者
会長 尾関 孝彦 元県立高等学校校長 同窓会参与（普通科10回生）
中山道加納宿保存会会長
副会長 佐藤 昌宏 元岐阜大学教育学部美術教育教授（美術科8回生）
委員 大島 令子 PTA副会長
中村 規子 特別養護老人ホーム ナーシングケア加納 施設長
日比野浩之 加納西自治会連合会副会長
水野 律子 加納まちづくり会会長
学校側 高田 広彦 校長
大前 幸弘 事務部長
松野 晶信 教頭
大平 隆司 教頭
山田 茂雄 教務部長
篠田 和明 総務部長
大野 超子 総務部担当

5 会議の概要（協議事項）

（1）「生徒、保護者アンケート結果」について

意見1：保護者は、子供からの情報以外に学校からの情報がないと分からないことがある。ホームページが検索しにくいので改善してほしい。

意見2：学校側からの説明で、「保護者のアンケートで『わからない』という回答が多いので情報をさらに発信していきたい」と言われたが、生徒が学校のことを保護者に伝えていないのではないか。

意見3：「高校生としてふさわしい服装、頭髪等の指導を行っている」という項目で昨年に比べて保護者の満足度が低下しているが、親としては、私服は洗濯等しやすく、ありがたい。制服の着こなしの乱れは気になる。フォーマルということについて親子で意識が違うのではないか。

意見4：服装について、自治会で「加納高校はコロナ対応等もあって私服も許可している」ということを連絡したので、地域の人には理解いただいている。

意見5：アンケートに答える心理からいうと、「まったくあてはまらない」と答えるのは強い動機があると思われるので、その項目を注意してみるべきではないか。

意見6：保護者の中には、あまり意見を言わない人もいますが、アンケートの回収率はどのくらいか。

⇒ 今年はオンラインでアンケートを行ったこともあり、8割くらい回収できた。

(2) 「スクール・ポリシー（案）」について

意見1：リーダーとなる生徒を育てたいということがよく分かる。

意見2：グラデュエーション・ポリシー（育てたい生徒像）にもあるが、一人一人を大切にすることはもちろん大事だが、協働することの大切さも重視すべきだ。

意見3：芸術を志す生徒の中には、常識にとらわれない考えをもっている生徒もいるが、服装もその一つで、「品性ある豊かな人間性」との矛盾がある。

意見4：社会も子供も変化している。学校としてどう対応していくのか考えていく必要がある。

意見5：アドミッション・ポリシー（どんな生徒を待っているか）について、中学生が自分の将来像を考えるきっかけやヒントになるとよい。

(3) 「校則の見直し」について

意見1：ルールを細かく設定しなくても、生徒が自分で考えると思う。露出度の多い服装については気をつけさせるべきである。

意見2：制服を着たときの乱れが気になる。フォーマルウィークを行ってもよいのではないか。

意見3：LGBT対応などはどうなっているのか。

⇒ 県の方針で、制服の男女の記載を削除した。

(4) 「県立学校体育施設開放」について

意見1：今まで特に問題（ボールが当たり器物が破損した等）はあるのか。なければ、開放はいいことである。

⇒ 特に問題はない。

意見2：戸締まりなど、管理はどうなっているのか。

⇒ グラウンドを開放しているため、西門の開閉等を岐阜市の嘱託職員が管理している。

意見3：加納高校の体育館は地震の時などの地域の避難場所に指定されている。その場合、誰が鍵を開けるのか。

⇒ 避難所の開設は、岐阜市の防災部門が扱うことになる。岐阜市が避難所として本校を使用すると判断した場合、岐阜市の要請に基づき市の担当者立会いのもと、避難所を開設することになる。

6 会議のまとめ

第2回学校運営協議会では、全委員より来年度以降の本校の「スクール・ポリシー」「校則の見直し」「県立学校体育施設開放」の方針について承認が得られた。

本日得られた、貴重な意見・助言は、職員会議等で全職員に伝え、今後の本校の教育に生かしていきたい。